

(2020事業分)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 成果・効果

No	事業名	総事業費 (単位:円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の概要	成果(実績)	効果
1	高知県休業等要請 協力金負担金	2,300,000	R2.4.24	R2.8.28	高知県実施の休業等要請に応じた県内中小企業または 個人事業主の事業継続支援に対する負担金	町内事業者23事業者に対する協力 金の町負担分2,300,000円を負担。	休業要請をいただいた、事業者者に協 力金を支出することで、町内の事業 者においては新型コロナの影響によ る廃業は無かった。
2	休業要請協力金事 業	2,910,836	R2.4.23	R2.7.6	中土佐町実施の休業要請に応じた中小企業または個人 事業主の事業継続支援のために協力金を支給。	町内事業者に休業要請に応じて頂 けた。 休業要請対応事業者数:23事業者	感染の可能性が高い施設の事業者 が協力していただけることで、急激な 感染拡大等のリスク軽減をすることが できた。
3	中小事業者等支援 給付金事業	4,505,738	R2.7.1	R2.11.5	新型コロナ感染症拡大により、大きな影響を受ける事業 者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧とするため 給付金を支給。	新型コロナ感染症拡大により、売上が 大きく減少した事業者に対し、給付金 が支給できた。 支給事業者数: 18 支給総金額: 4,500千円	町内事業者の事業継続に繋がった。 給付金実施後の廃業事業者なし。
4	農林事業者支援給 付金事業	200,000	R2.7.1	R2.10.15	新型コロナ感染症拡大により、大きな影響を受ける農林 事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧とする ため給付金を支給。	給付件数: 1件 金額: 200,000円	町内事業者の事業継続につながっ た。給付対象者は事業を継続してい る。
5	避難所用感染症対 策備蓄品整備事業	38,778,779	R2.7.10	R3.3.31	避難所における感染症拡大防止のため、備蓄品等を整 備。	避難所(26箇所)への感染症対策資 機材・備蓄品および収納庫2棟を整 備。 整備数量(別紙)	コロナ禍にあっても避難所を安定的 に運営できる環境が整った。
6	福祉施設等感染症 対策支援事業	6,974,000	R2.10.21	R3.3.15	感染症予防のため、高齢者施設等への次亜塩素酸水生 成装置の設置を推進するとともに感染症予防のため、感 染予防対策品を福祉施設等に配布。	次亜塩素酸水生成装置8台を整備。 ※設置箇所: 中土佐町役場(2台)、 病院、診療所、養護老人ホーム(2 台)、デイサービス、町民交流会館 感染予防対策品整備 整備数量(別紙)	次亜塩素酸水生成装置を公共施設 や医療・福祉施設に設置することによ り、感染症拡大を最小限に抑えた施 設運営が行えた。 感染予防対策品の整備により、コロ ナ感染拡大防止に配慮した公共的施 設・事業所の運営が行えた。
7	公共交通事業者感 染症対策事業	233,000	R2.4.1	R3.3.25	町内を運行する公共交通事業者が実施する感染症予防 対策に要する経費を助成。	補助事業利用事業者数: 3事業者 補助金支出額: 233,000円	町内を運行する公共交通がコロナ感 染により運休することが無かった。
8	花いっぱい応援事 業	400,000	R2.6.23	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって需要が激 減している花きを町が買取り、町内公共施設で飾ること により、花き農家の支援するとともに施設利用者等のスト レス緩和などをはかる。	買取金額: 400,000円 件数: 2事業者 買取本数: ユリ 861本 ブルースター: 50セット	公共施設等に花を飾ることで、多くの 人が町の産業に触れることができ、 住民からの注文も増え、支援が広 がった。事業者は事業を継続してい る。
9	学校臨時対策事業	323,259	R2.4.28	R3.2.19	イ 小中学校の再開により提供する学校給食および検診 等における感染症予防のための対策を講じることにより 学校内での感染症予防を図る。 ロ 臨時休校に伴う食材のキャンセル費用を事業者者に支 払うことにより事業者の負担を軽減。	イ 配膳当番消耗品・梱包材、検診 時消耗品の購入 ストレッチマスク: 10箱(100枚×10 箱) 消毒液: 6箱(20L×6箱) 消耗品: (マスターバック、耐油性包 装紙 等) ロ 食材キャンセル費用 77,748円	感染症対策を強化することで小中 学校においてクラスターの発生を抑制で きた。 キャンセル費用の支払いにより事業 者の負担を軽減に繋げることができ た。
10	新規市場開拓支援 事業	18,772,317	R2.7.6	R3.12.13	新型コロナウイルス感染症拡大によって需要が減少して いる町内産品を町が買取り、町外の飲食店等に無償提供 することにより、町内産品の新たな販路拡大を目指す。	町外飲食店参画数: 76店舗 町内生産者参画数: 14者 食材取引高(サンプル含): 9,820,018 円	本事業終了後の継続的な取引件数: 約10件
11	なかとさ地域応援 商品券事業	133,121,955	R2.9.25	R3.5.6	町内の消費拡大によって事業者の事業継続を支援すると ともに、町民の生活を支援。	新型コロナ感染症拡大の影響よって下 がった町民の消費活動を促すため商 品券を配布した。 商品券使用金額: 130,260千円	令和4年12月末～令和5年1月16日の 期間で無作為に抽出した町民の方に アンケート調査を実施した。回答率は 約35%、そのうち97%の方が生活の 支援になったと回答があったことか ら、概ねの町民に対して効果があっ た。また、商品券の使用率が約97% であることから消費活動を促し、事業 の事業継続にも寄与した。

(2020事業分)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 成果・効果

No	事業名	総事業費 (単位:円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の概要	成果(実績)	効果
12	中心商店街等感染症対策事業	4,410,000	R3.2.10	R3.3.31	観光客が多く訪れる大正町市場商店街を「新しい生活様式」を踏まえたアーケードとして改修し、密を避ける販売など衛生的で快適な市場空間の整備を支援。	老朽化により、開閉できなくなったアーケード天幕の改修を行った。 改修費補助金額:4,410千円	来客が多くなる天候の良い日には、天幕を開くことが可能となり、密になりやすいアーケード内の換気性を高めることができた。
13	中小事業者感染症対策支援事業	7,039,000	R2.10.14	R3.3.25	町内事業者が「新しい生活様式」に対応した業種別の「感染予防対策ガイドライン」等に基づいて実施する取り組みに要する経費および販促・新サービス展開等事業に要する経費を支援。	新しい生活様式に対応した感染症対策及び、販促費・新サービス等に取り組む事業者に対して支援ができた。 支給事業者数:24 支給総金額:7,039千円	町内事業者の事業継続に繋がった。 補助金事業実施後の廃業事業者なし。
14	ライダーズイン中土佐感染症対策事業	7,744,000	R2.12.23	R3.3.31	町の所有する宿泊施設(ライダーズイン中土佐)客室空調を更新することにより、新型コロナウイルス等感染症対策を図る。	換気機能付の空調機に変更し、客室の感染症対策を図った。 実績額7,744,000円	感染症対策を強化することで、安心安全に利用でき、施設の宿泊施設の高評価に繋がった。
15	ふるさと海岸公衆トイレ改修事業	33,990,000	R2.11.16	R4.3.28	多くの観光客が利用するトイレの感染症対策を強化することにより、感染拡大防止を図る。	和式トイレをウォッシュレット機能が付いた様式にし、自動洗浄の手洗場に変更。建屋も喚起機能を強化したものに変更した。 実績額33,990,000円(監理・工事費)	清掃・管理の視点からも、以前のものより対策が強化され、不特定多数が利用する公衆トイレからの感染拡大を防止する
16	屋外観光施設改修事業	34,643,400	R3.1.28	R4.2.25	新型コロナウイルス感染症の収束後の密を避けた屋外(自然)指向の観光ニーズの受け皿となるために観光施設を改修。	新しい生活様式に対応したコテージの改修及び屋外観光の推進を目的とした遊歩道等の整備を実施した。 設計費 989千円、監理費 465千円、 コテージ改修 6棟 27,090千円 遊歩道等改修 6,101千円	コロナ禍であってもお客様が安心して宿泊できる環境が整備できたことに加え、展望台へ向かう既存の遊歩道の傾斜を緩やかにし、手すりを設置するなどの整備を行うことで、今まで以上に展望台を利用しやすい環境にすることができた。
17	ブレマ応援給付金事業	2,800,000	R2.4.27	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症拡大により、心理的にも経済的にも不安を抱えながら妊娠期間を過ごしている妊婦の方が、少しでも安心して出産を迎えることができるように給付金を支給。	給付金支給数:28名	支給対象者へのアンケートでは、回答があった9名の内7名(77.8%)の方から「給付金の支給により、安心して子どもを生み育てることができた」との回答があり、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、出産までの間、不安を抱えて過ごすこととなった妊婦の心理的・経済的な負担の軽減に寄与したと考えられる。
18	簡易水道BCP策定事業	3,520,000	R3.5.6	R3.11.22	大規模災害および感染症拡大などに対応した応急給水及び応急復旧のBCPを策定。	水道事業BCPを策定した。	感染症拡大時や大規模災害発生時に、水道水を供給でき、また、優先実施業務を中断させず、たとえ中断したとしても迅速な復旧を目指し、許容期間内に業務を復旧させることができるようになった。
19	奥四万十・じも旅キャンペーン事業	9,094,100	R2.7.10	R3.3.25	高幡広域市町村圏事務組合が実施する観光キャンペーン実施にかかる負担金。	中土佐町内におけるクーポン券使用実績 23,888,500円	町内宿泊施設から観光施設への人の流れがうまれた。
20	避難所施設環境整備事業	5,742,000	R3.7.8	R4.3.22	災害時の避難所となっている大野見庁舎のトイレをユニバーサル対応するとともに感染症対策を実施することにより、安心安全な避難所として機能強化を図る。	洋式便器、幼児用大便器、オストメイト、ベビーチェアー、ベビーシート等を備えたユニバーサル多目的トイレを整備。	感染症対策に配慮したユニバーサル多目的トイレの整備により、避難所の感染症対策の機能強化が図られた。
21	行政システムIT化推進事業	26,290,000	R3.1.20	R4.3.18	新型コロナウイルス感染症対策のため、迅速に罹災証明書発行業務ができるように、航空写真の撮影と家屋図を作成を実施し照合を行うことにより家屋情報の精度を向上する。	・航空写真撮影 ・家屋図データ作成及び航空写真との照合	家屋情報の精度が向上したことで、災害家屋の特定が容易になった。 これにより、罹災証明書発行業務において、窓口対応や現地確認の時間短縮につながり、新型コロナウイルス感染リスクの軽減につながった。
22	農業収入保険緊急支援事業	903,000	R2.10.23	R3.12.15	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、安定して農業経営が行われるよう、収入保険への加入推進及び負担軽減を図る。	補助件数:17件 金額:903,000円	新型コロナの影響により値が下がった品目の収入補填につながり、営農継続につながった。
23	農林業事業者次期作支援事業	2,400,000	R2.12.15	R3.7.15	新型コロナウイルス感染症の影響より出荷・販売等で影響を受けた農業者が、農産物の次期作に係る経費の一部を負担することにより農業者を支援。	補助件数:8事業者 金額:2,400,000円	町内事業者の事業継続につながった。給付対象者は事業を継続している。

(2020事業分)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 成果・効果

No	事業名	総事業費 (単位:円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の概要	成果(実績)	効果
24	農産物成分分析支援事業	663,600	R2.12.15	R4.3.31	新型コロナウイルス感染症の拡大による地域農業の衰退に対応するため、地域特産物の機能性成分の分析を行い、含有成分を担保したブランド化を図るための取組を支援。	補助件数:3件 金額:663,600円	成分の優位性等を見つけることができ、今後の販売戦略に生かせるデータの収集ができた。
25	農産物流通支援事業	200,642	R3.2.18	R3.11.5	新型コロナウイルス感染予防の一環として接触機会の軽減を図る省力化のための設備導入を支援するため、高知県が実施する農業関連コロナ対策ハード整備事業費補助金へ上乗せ助成。	負担件数:2件 負担金:447,642	接触機会を軽減することで感染リスクを下げることができた。
26	森林内路網点検・整備事業	606,000	R3.1.20	R3.3.29	新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減少にともなう雇用継続支援のため、公益性の高い林道や作業道の補修・改良や施設の点検などを実施。	森林の公益的機能発揮や木材搬出に必要な林道、作業道3路線を路網点検・整備できた。	木材生産が促進(搬出間伐事業等)され、施業地が増え、雇用継続支援が図られた。
27	四万十源流の里支援事業	4,559,500	R2.12.18	R3.3.19	「新しい生活様式」や「社会構造の変化」を踏まえた観光客の受入環境整備など事態収束後の観光消費の拡大に繋がる取組を支援し、地域観光の活性化につなげる。	町内から施設までに設置されている看板の多言語化。バンガロー棟の窓枠に網戸設置。空調設備を交換し、感染症対策を図った。 実績額4,559,000円	インバウンドの回復に対応できる体制を整えることができた。
28	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	8,819,250	R3.1.29	R3.10.8	町内小中学校の情報通信ネットワーク環境を整備することにより、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現させる。	児童生徒1人1台端末を前提とした高速大容量の校内通信ネットワークを整備。	日常的にタブレット端末を使用した授業が開催できている。
29	小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	1,189,650	R3.1.29	R3.10.8	町内小中学校の情報通信ネットワーク環境を整備することにより、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを実現。	GIGA対応ネットワーク機器(スイッチ):7台 Chromebook用充電保管庫:1台	日常的にタブレット端末を使用した授業が開催できている。
30	学校保健特別対策事業費補助金	3,497,211	R2.4.7	R3.3.31	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校の一斉臨時休業に係る対応及び一斉臨時休業からの再開等を支援。	余裕教室1室を普通教室に改修。換気扇、網戸を設置。 感染症対策用品の整備 整備数量等(別紙)	感染症対策を強化することで小中学校においてクラスターの発生を抑制できた。
31	小・中学校保健特別対策事業	1,998,811	R2.4.7	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校の一斉臨時休業に係る対応及び一斉臨時休業からの再開等を支援。	余裕教室1室を普通教室に改修。換気扇、網戸を設置。 感染症対策用品の整備 整備数量等(別紙)	感染症対策を強化することで小中学校においてクラスターの発生を抑制できた。
32	連携協定大学学生支援事業	540,401	R2.12.11	R3.2.9	中土佐町が連携協定を締結している日本体育大学の学生食堂に食材を無償提供することにより、家計が急変した学生などに安価で安心安全な食の提供をはかるとともに、需要が減少している町内産品の支援。	参画事業者数:5者 食材買取高:490,401円	日本体育大学駅伝部の学生寮の食堂に食材を提供することにより、町内産品の消費と駅伝部員の支援となった。
33	生産者等支援事業	830,000	R3.3.24	R3.5.17	JAが実施する生産者等支援事業に対して、市町村がその経費の一部を負担することにより、町内農業者等の事業継続を支援。	負担金額:830,000円	町内事業者の事業継続につながった。離農者が発生しなかった。
34	飲食店応援事業	21,764,557	R3.4.1	R3.12.27	売り上げが低迷している町内飲食店を支援するため、使途の対象を飲食店専用としたプレミアム付き商品券を発行し、消費の拡大を図る。	新型コロナ感染拡大の影響による、外出自粛によって下がった町民の消費活動を促すための商品券の販売ができた。 商品券:4,000冊	町民の消費喚起を促し、町内飲食店の事業継続に繋がった。商品券事業実施中・後の廃業事業者なし。
35	営業時間短縮要請対応臨時給付金	5,104,012	R3.4.15	R3.8.16	高知県が実施する「高知県営業時間短縮要請対応臨時給付金」の対象者のうち町内事業者に対して上乗せの給付金を支給することにより町内事業者の事業継続を支援。	新型コロナ感染拡大により、売上が大きく減少した事業者に対し、給付金が支給できた。 支給件数:23件 支給総金額:5,615千円	町内事業者の事業継続に繋がった。給付金実施後の廃業事業者なし。

(2020事業分)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 成果・効果

No	事業名	総事業費 (単位:円)	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業の概要	成果(実績)	効果
36	おおのみ米等PR 事業	1,496,000	R3.5.24	R3.11.30	おおのみ米をはじめとする一次製品の生産過程や背景などのストーリーをまとめたPR動画を作成し、販売促進を図る。	PR動画1本を製作	町内での動画再生のみならず、高知市内での大型スクリーンでの放映など、一次産品をPRすることができた。
37	学校バス整備事業	7,535,020	R3.6.15	R3.10.12	町主催の行事や小・中学生の校外で行う行事、クラブ活動時に児童・生徒の送迎を実施するマイクロバスを配置することにより、3密を軽減。	マイクロバス整備数:1台	感染症対策が図られ、小中学校においてクラスターの発生を抑制できた。
38	学校保健特別対策 事業費補助金	118,854	R2.4.7	R2.8.28	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 小中学校の再開により提供する学校給食および検診等における感染症予防のための対策を講じることにより学校内での感染症予防を図る。	学校現場の感染予防のための、アルコール、マスク等を購入した。	町立小中学校で、期間内に学校クラスターは発生しなかった。
39	学校臨時休業対策 費補助金	108,376	R2.4.2	R2.7.15	(学校給食費返還等事業) 臨時休校に伴う学校給食食材のキャンセル費用を事業者を支払うことにより事業者の負担を軽減。	臨時休校に伴う学校給食食材のキャンセル費用を事業者に支払うことができた。	給食食材提供事業者の負担を軽減に繋げることができた。
40	学校保健特別対策 事業費補助金	2,949,298	R3.8.11	R4.1.4	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習補償をするための取組みなど、学校教育活動の円滑な運営を支援。	町内小中学校の玄関にサーマルカメラを設置した。 また、各学校の教室の一部に、Co2モニターを設置した。	町立小中学校で、期間内に学校クラスターは発生しなかった。 生徒の登校時検温作業の効率化が図られた。 換気について客観的な指標ができ、冷暖房効率が上がった。
合計		409,076,566					